

櫛形山

櫛形山へ登るのは、これで5回目くらいかと思う。30歳以前の若い頃にけっこう登ったように思う。当時は夜行列車で行っていわゆる夜行日帰りというやつである。そのころは当たり前のことであった。土曜日の23時45分新宿発の電車なんていつも満員であった。土曜日の休みが普通になる前のことである。甲府からバスで芦安温泉まで行って、そこから櫛形山への登山道があった。今は地図でも点線になっていて、あんまり使われていないようである。今回のコースは標高1850mの池の茶屋林道終点まではタクシーで行ってしまうので、200mも登れば頂上についてしまうというテレテレコースである。そこから和櫛の上を端から端まで歩くような形を取って、標高900mのグリーンロッジまで降りる。降りが苦手な私にとってはあまりありがたくないコースである。やはり降りでは苦勞して、一日たった今になって足の筋肉が突っ張ってきた。

この山にはアヤメ平というところがあって、この季節にはアヤメの群落が見られるのが有名であった。しかし今は鹿の害にあって、アヤメ平にアヤメは全くなくなってしまった。裸山の近辺でネットの守られてわずかに見ることができた。



アヤメ平をしのばせる唄



アヤメ

この山には奇妙な木々が沢山あることと、やたらサルオゴセがあることが特徴である。植生保護のためのロープにまでサルオゴセが付いており、その生命力の強さには驚かされる。

ツアーリーダーは1日に3回くらい投稿することもある Facebook の帝王の押田さんと、サブは中年なりたてのくらいの主婦と思われる水村さんである。彼女とは初めてである。メンバーはジジイが6、ババアが5名である。軟弱なコースだとジジイが多くなる。わずか200m の標高差で息を弾ませているジジイもいたので、今回は俺も平均年齢よりは下かなあと思ったが、降りでは奴らの方が余裕で歩いていた。私の方もマイタビへの参加は今年初めてであるのでカンニンしてもらおう。

